

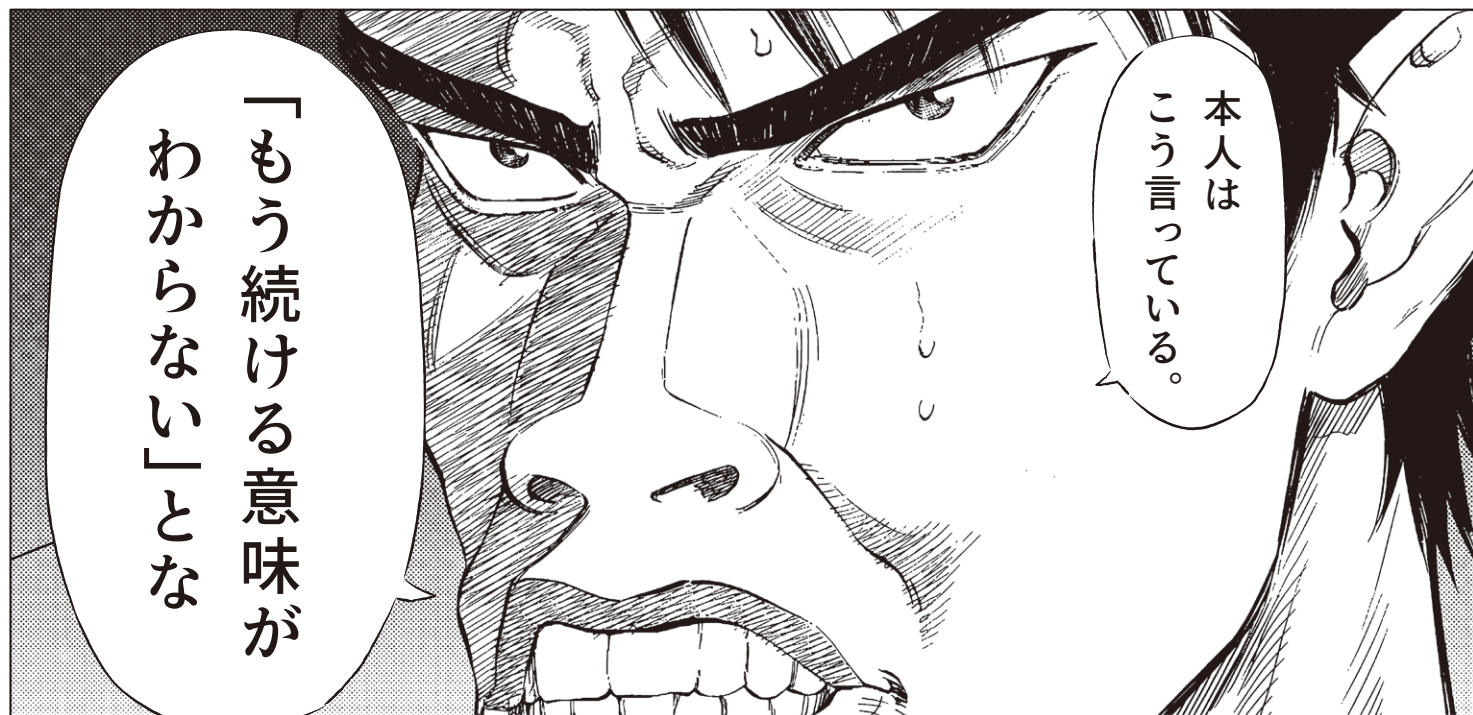
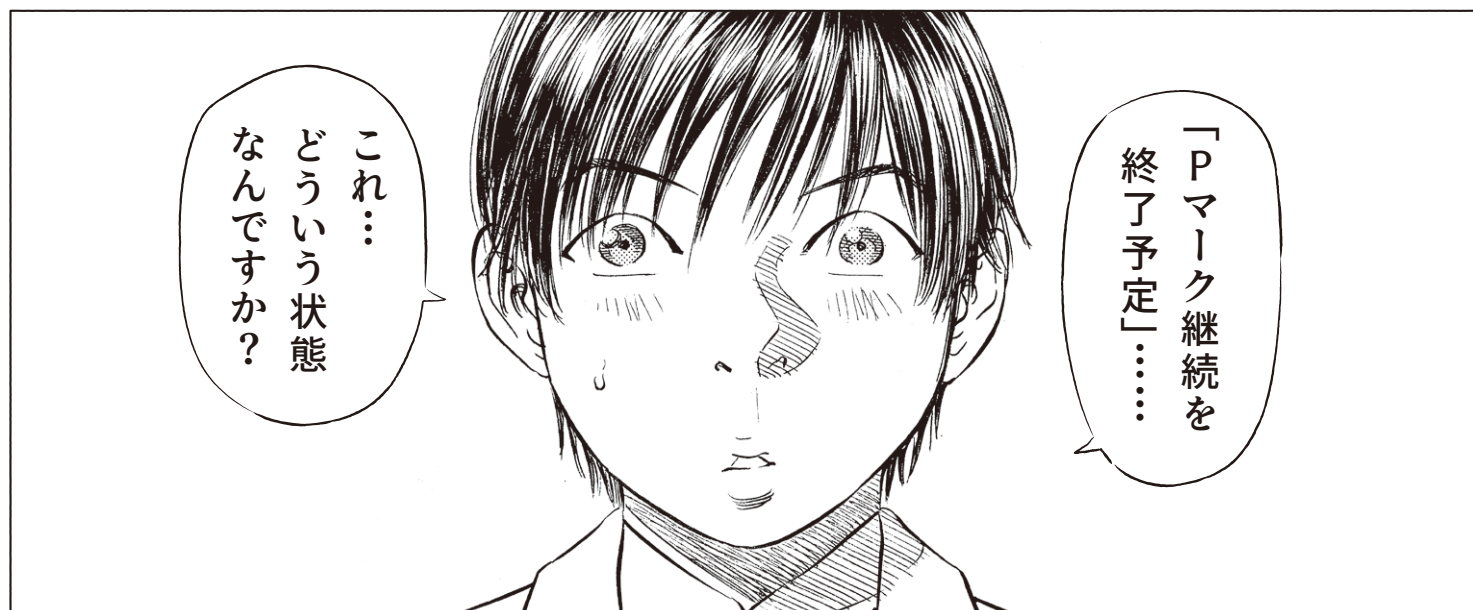
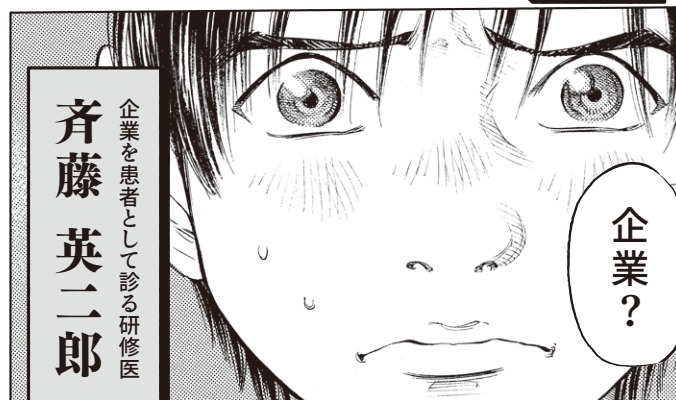
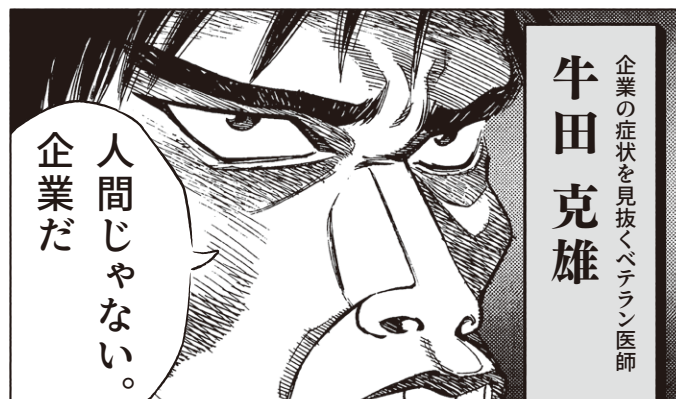
P
マ
ー
ク
の
継
続
が

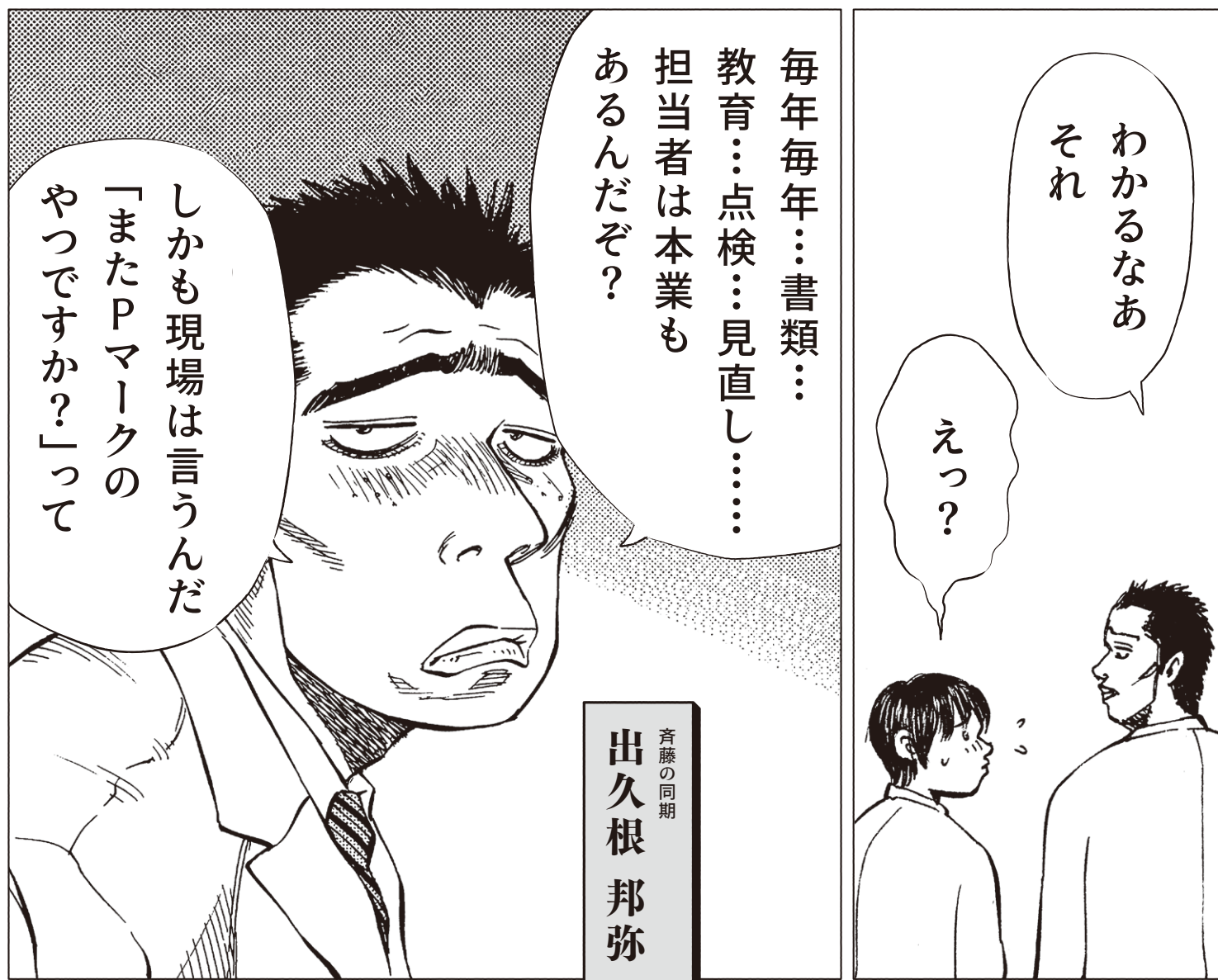
企
業
を
強
く
す
る

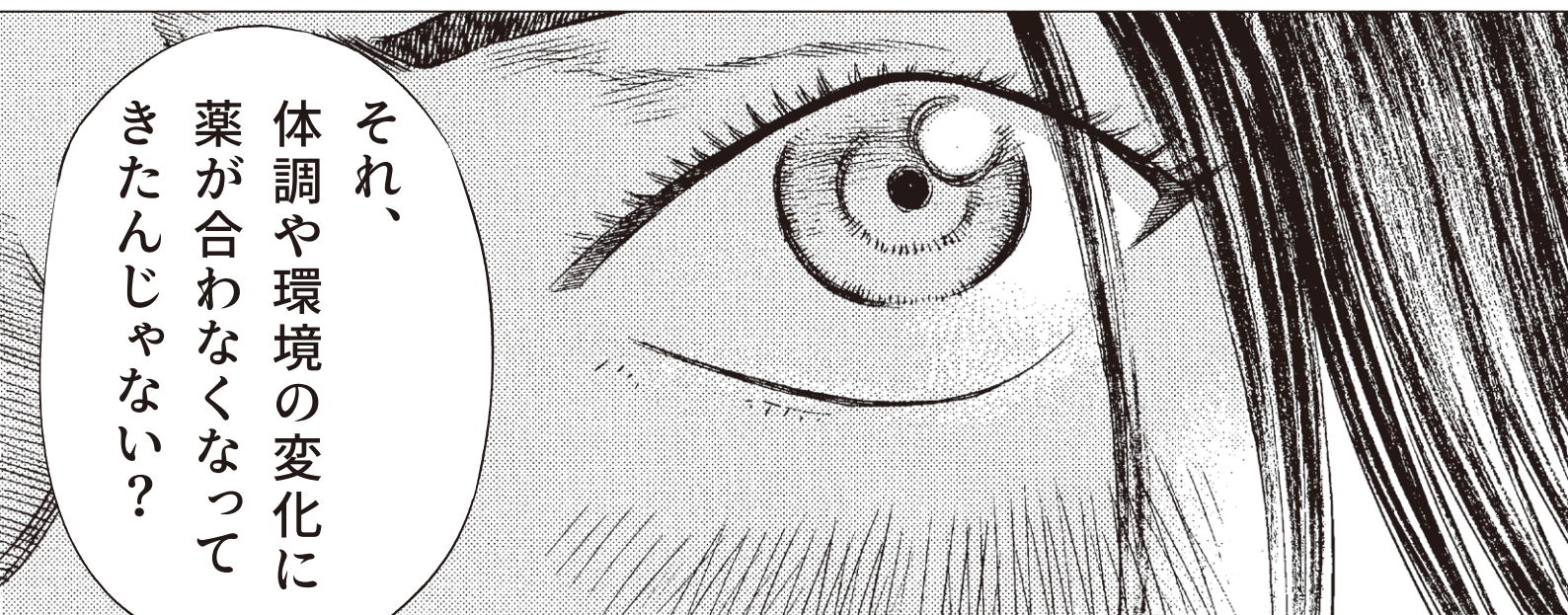
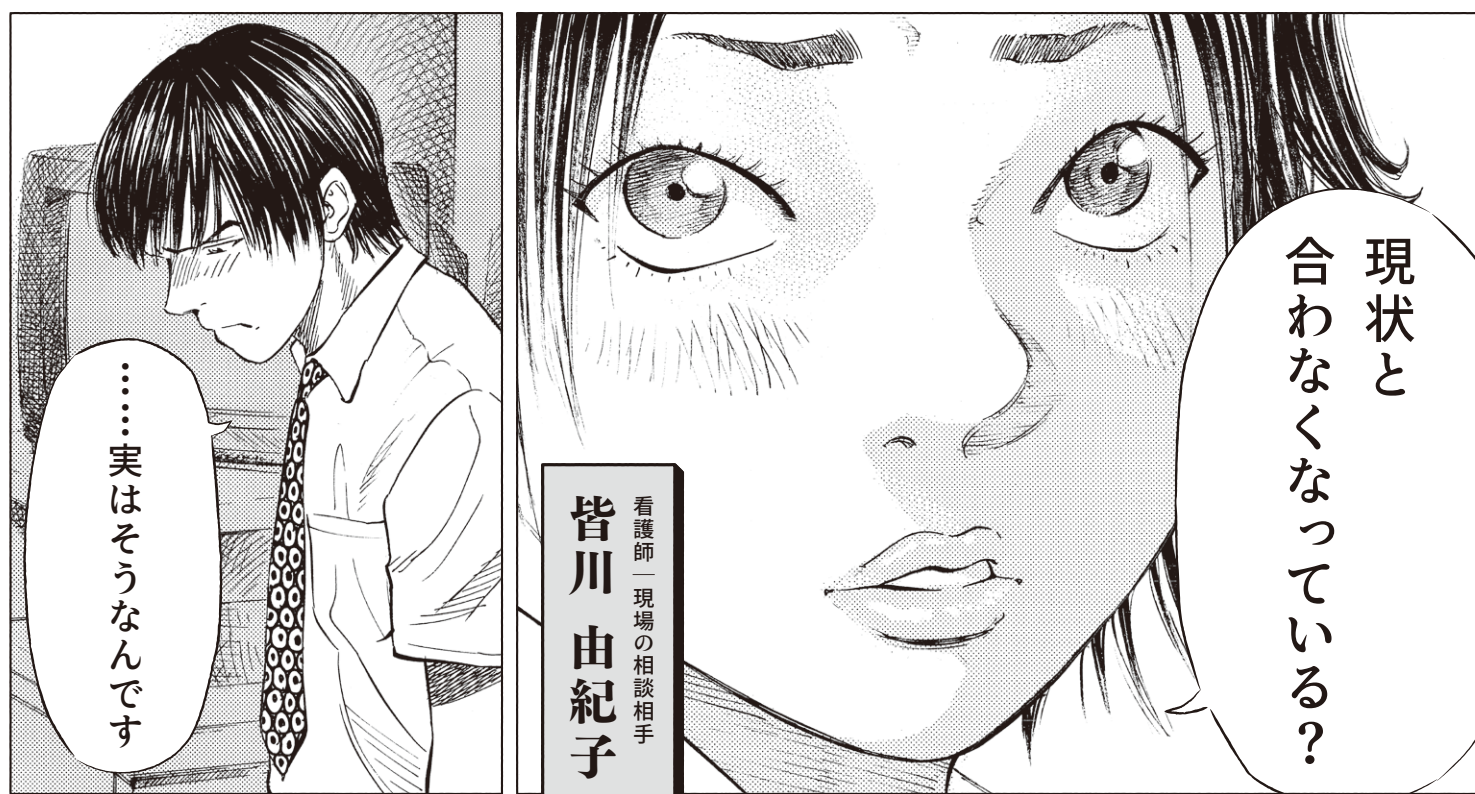
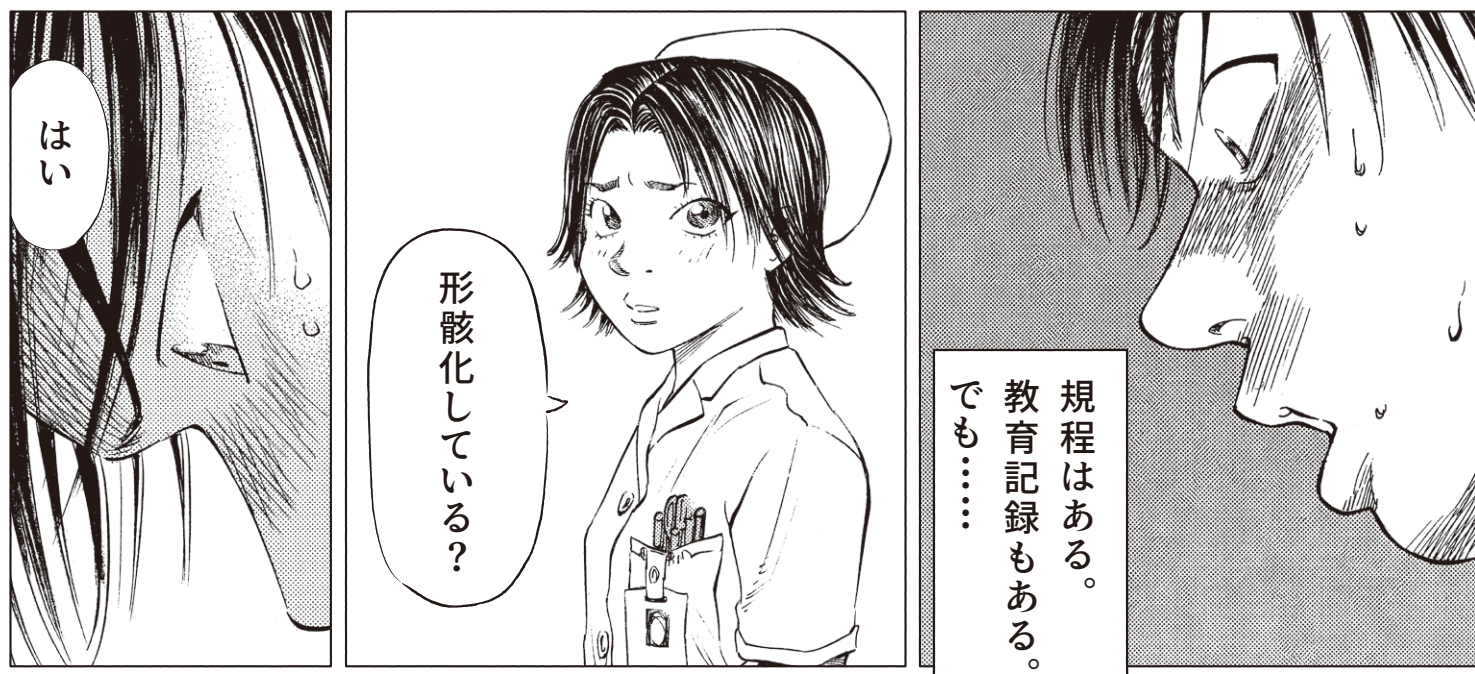
企
業
の
体
質
改
善
に

よ
ろ
し
く



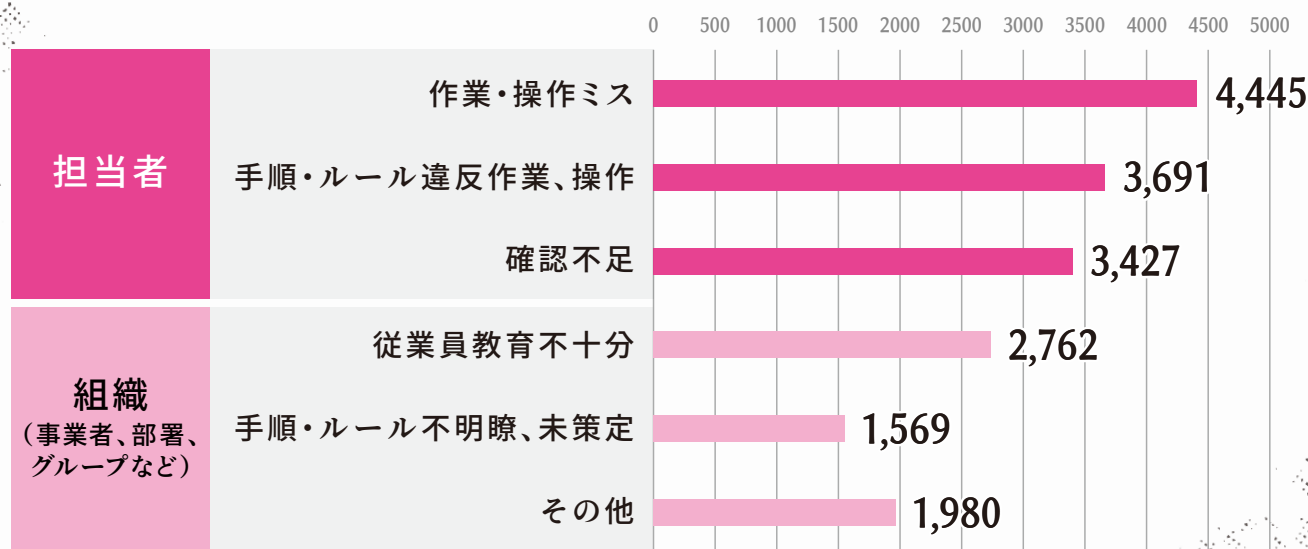




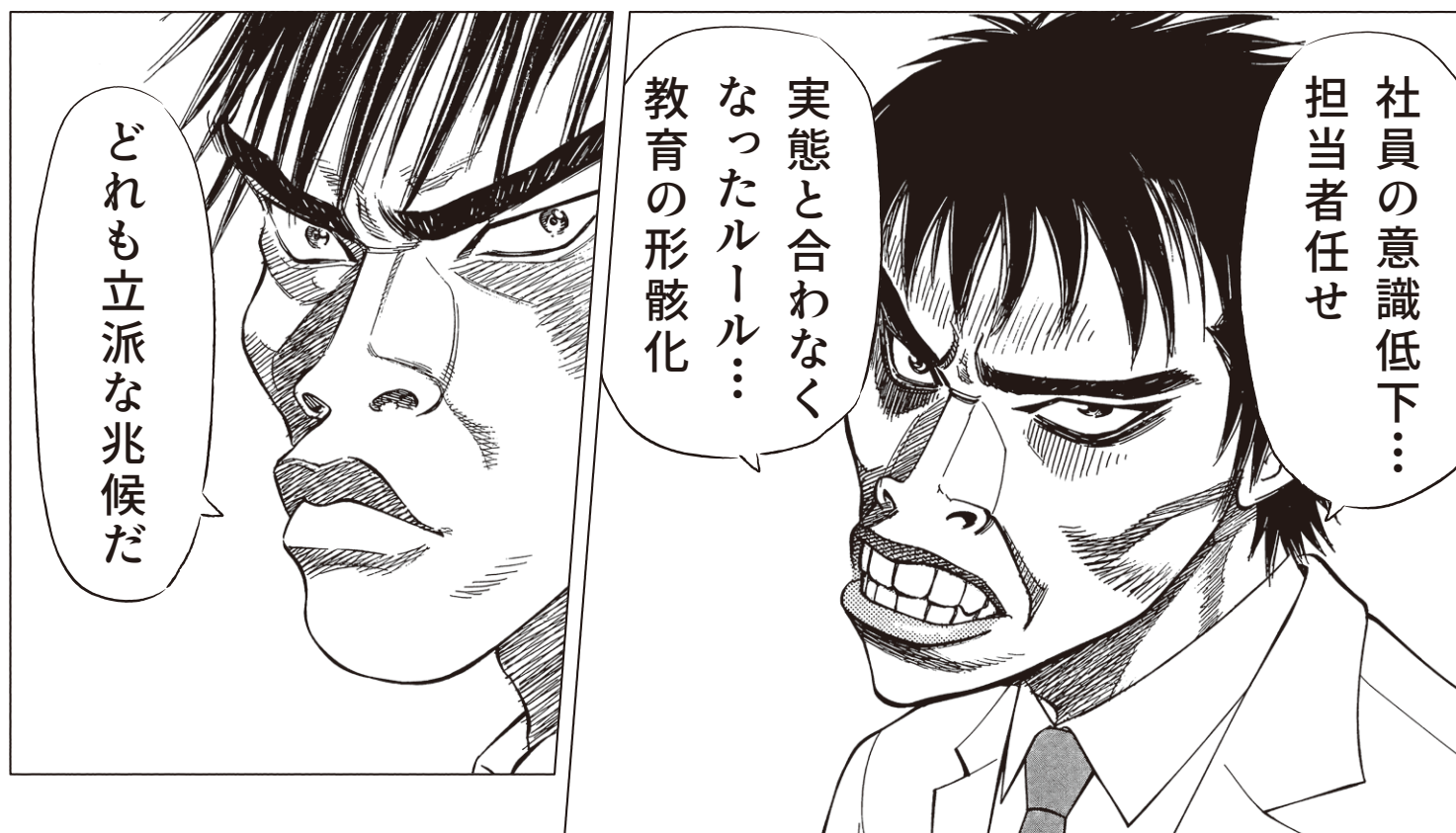


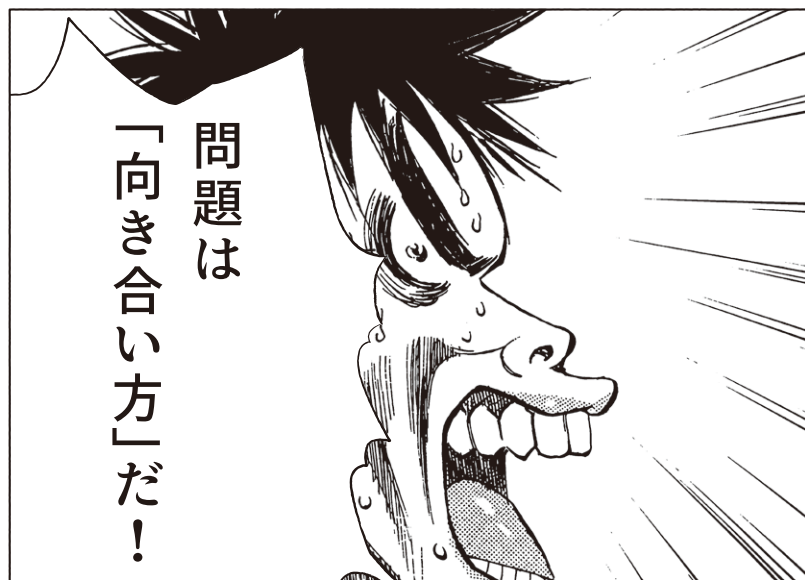


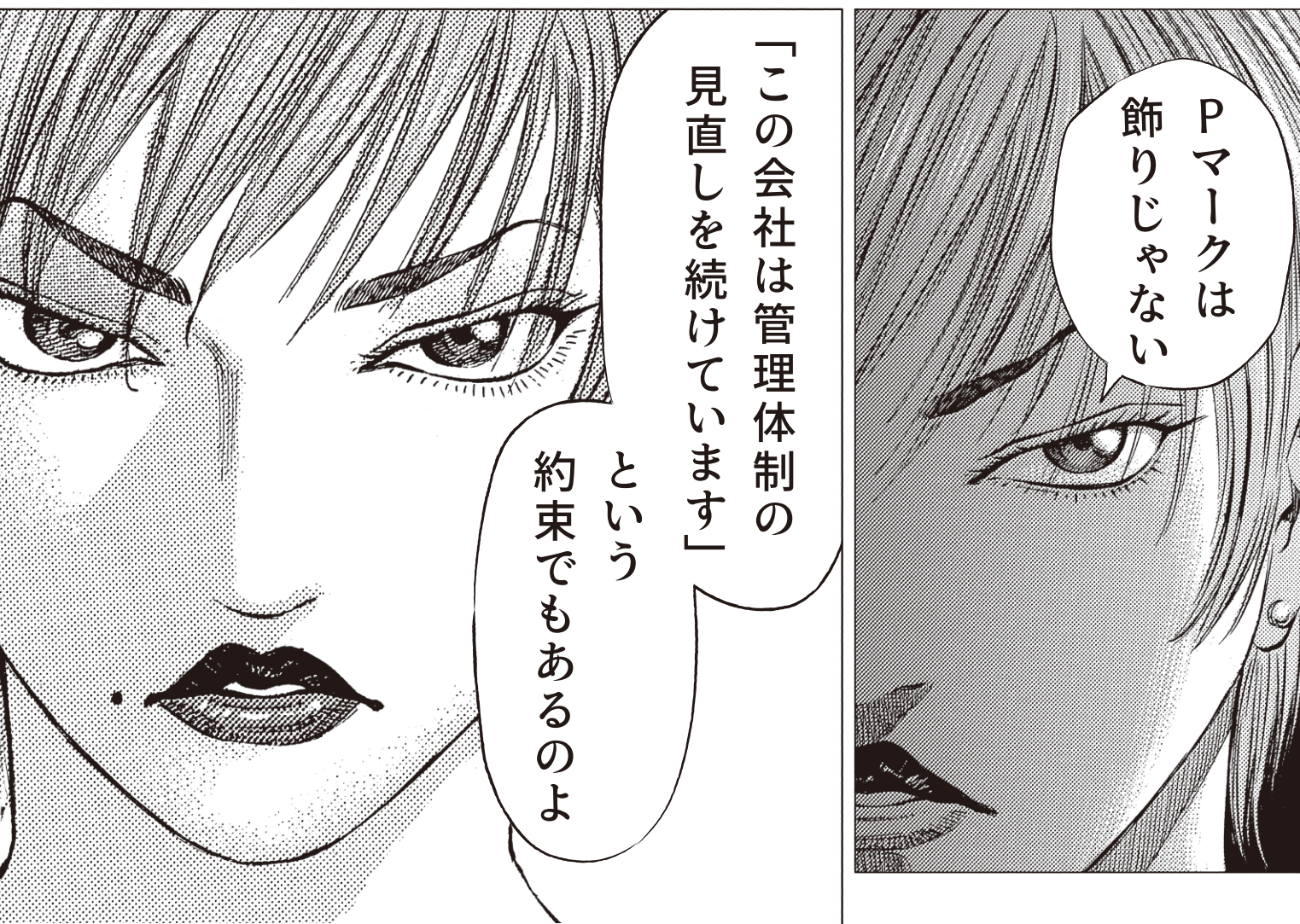
事故の原因はヒューマンエラーが多い

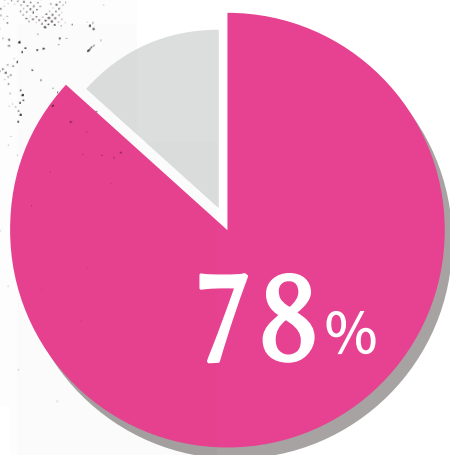


出典：JIPDEC「2025年度個人情報の取扱いにおける事故報告集計結果」を加工して作成









消費者の78%が
**Pマーク取得企業は
信頼できると回答**

出典: JIPDEC公表「デジタル社会における消費者意識調査2025」より抜粋・要約

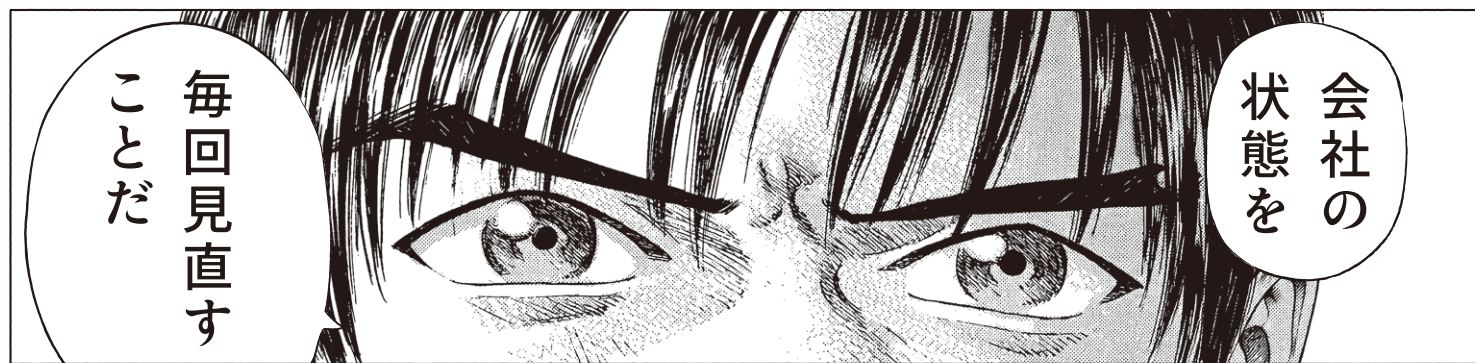
問題が起きて
からじゃ遅い

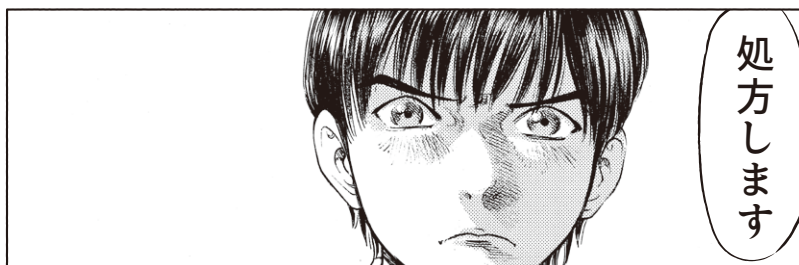
取引先も
顧客も見ている

服部 脩

経営トップ―最終判断者











企業にも健康診断を。 Pマークによりしく

Say hello to
PRIVACY
MARK

個人情報保護の状態を見直す、
企業のための健康診断。

P Mark is a health check for your company.



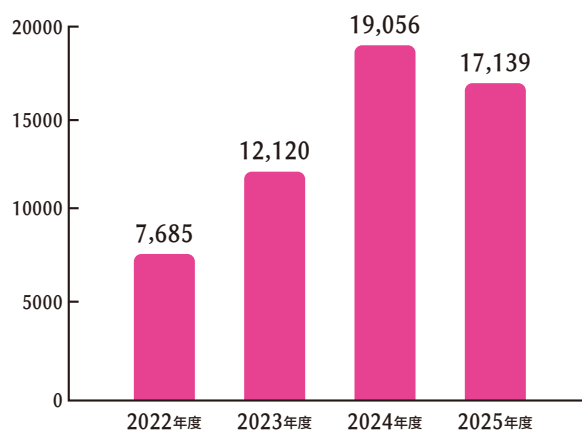
プライバシーマーク(Pマーク)は取得することが目的ではなく、PMSの運用を通じて個人情報保護レベルの向上を目指すものです。しかし、更新を重ねることで、「これまで事故が起らなかったから、これからも大丈夫」と安心してしまふことはありませんか？ 実は、重大な事故はある日突然起こるものではありません。日々の業務に潜む“無自覚なリスク”の延長線上で発生するものです。

プライバシーマーク更新は2年に1度。更新審査を、ぜひ個人情報管理の体制を見直す機会としてご活用ください。

プライバシーマークは
「継続すること」に
意味がある

小さなミスが、
経営を揺るがすことも

漏えい等事案に関する報告の処理件数の推移



個人情報の
漏えいによって
予測される影響

- 信用の失墜
- 信頼回復のための経済的負担
- 事業継続に係るダメージ

出典:「個人情報保護委員会年次報告」(個人情報保護委員会) 令和4~7年度分を加工して作成

個人情報の漏えいは近年増加傾向にあり、「個人情報を適切に管理すること」の重要性はますます高まっています。

個人情報の漏えいには、様々な原因があります。

メディアで報道されるような大規模なサイバー攻撃だけではなく、社員の誤操作や確認不足などのヒューマンエラーに起因する漏えいも多く発生しています。小さなミスから大きな漏えいにつながることもあるのです。

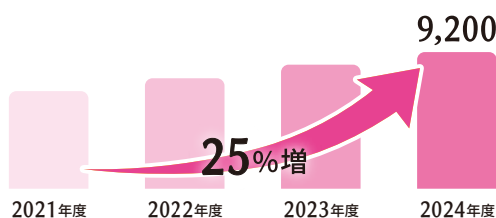
個人情報の適切な管理は
今、企業が取り組むべき
経営課題です！



個人情報の漏えいが頻発する中、多くの企業が取引先の選定においても個人情報の管理体制を重視するようになっていきます。近年ではプライバシーマークの取得が官公庁等の入札参加条件になっている案件も増加しています。

JIPDEC調べ:入札情報検索サービス nSearch(エヌ・サーチ)にて調査

官公庁等の入札公告文書内に
「プライバシーマーク」の文言が含まれている件数(概数)



適切な管理体制で、
顧客から選ばれる
企業へ

「見落としがちな」
PMS継続のための
4つのポイント



1 ルールを
現場の業務に合わせて見直す

形骸化していたり、現状と合わなくなったルールなどはありませんか？

業務内容や取引先は、時間が経過するにつれて変化する場合があります。変化に合わせて、見直すことが大切です。



2 担当者一人だけに背負わせない

PMSの運用は、経営者(トップマネジメント)が積極的に関与することが重要です。

担当者に任せきりではなく、各部署・現場の従業員と常に連携して、組織全体で継続していきましょう。



3 教育を「記録のため」から
「従業員の意識向上の機会」に

社内教育は、本来の目的と現場の実態に合った内容にすることが大切です。

また、最新技術の普及や新しいサービスの活用に合わせて、教育内容も見直しましょう。従業員が日常業務の中で「これは危ない」と自ら気づき、適切な判断と行動ができるよう、実践的な教育を継続して行うことが重要です。



4 点検を「責める場」ではなく
「リスク早期発見の場」へ

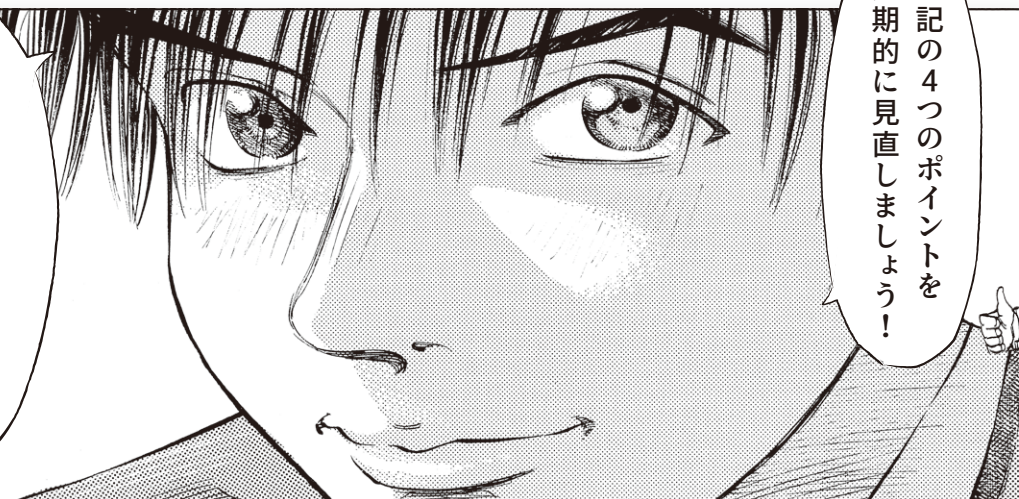
日々の運用チェックや内部監査は、誰かを責める場ではありません。

会社を守るために、自覚症状のないリスクを早期発見する機会として活用しましょう。



上記の4つのポイントを
定期的に見直しましょう！

2年に一度の
プライバシーマーク更新審査を
個人情報管理の体制を
客観的に見直す機会として
ご活用ください



対外的なメリット

マークの活用

信頼の獲得

差別化・
競争力向上



事業の発展



「再確認！」
プライバシーマークの
メリット



体制の構築・運用



社内のメリット

管理体制の強化

社員の
意識向上

事故の予防・
リスク低減



JIPDECプライバシーマーク推進センターでは、

PMSの運用にご活用いただける資料や付与事業者限定コンテンツを公開しています。



社内教育用の参考資料・動画

従業者向け個人情報保護教育のための参考資料・動画です。資料のひな形(PowerPoint形式)は自社の実態に合わせて個人情報取扱規程やルール等を適宜追記してご利用いただけます。



構築・運用指針動画および資料

Pマークの構築・運用指針を分かりやすく解説した動画と資料をご用意しています。



新任担当者向け解説動画および資料 Pマークポータルサイト限定

「前任者からの引き継ぎが不十分で、運用がブラックボックス化している…」とお悩みではありませんか？新任担当者が基礎から学べる動画をご用意しています。



不正アクセス対策に関する啓発資料 Pマークポータルサイト限定

不正アクセスに対する安全管理措置について、基本的な対応例を紹介しています。



プライバシーマーク制度ポスター、ステッカー Pマークポータルサイト限定

付与事業者自らが「事業者名」および「登録番号」を入力して簡単に印刷、利用ができるポスターとステッカーのデータを公開しています。プライバシーマーク取得のPRや従業者の個人情報保護の意識向上を目的とした啓発ポスターとしてなど、様々な場面にご利用ください。



各種お役立ちリンク集 Pマークポータルサイト限定

個人情報保護法や各種ガイドラインなど、必要な情報をまとめた便利なリンク集です。



付与事業者インタビュー

他社はどのように運用しているか？日々の取組みや工夫している点などをお聞きしています。



事業者のための取得・運用相談室

自社に合った運用へ見直しを考えているけど、何に注目していいかわからない方、更新申請までに何をすればいいかわからない方、お困り事や疑問点にお答えします。(相談方法:Web会議/JIPDECへの訪問)

Pマークポータルサイトは、JIPDECが運営する付与事業者向け限定サイトです。プライバシーマークの申請や事故等の報告などの各種手続き、プライバシーマーク登録証・プライバシーマーク(ロゴ)のダウンロード、PMS構築・運用の参考となる情報などを閲覧できます。

申請担当者にアカウントが付与されているため、付与事業者限定コンテンツの閲覧については、自社の申請担当者にお問い合わせください。



Pマークは、 企業の健康診断だ。

Pマークは取得して終わりではありません。
事業の変化に合わせて、
個人情報保護の仕組みを見直し続けることが大切です。
企業の信用を守るために定期的に健康診断を受診しましょう。

参考情報

・ プライバシーマーク制度Webサイト

<https://privacymark.jp/>

プライバシーマーク制度

検索

・ プライバシーマークチャンネル



YouTubeでも各種動画を公開中！

・ 全8ステップ 各2分！マンガで知る！PMS構築動画



体制づくりから棚卸し・リスク分析・運用・内部監査まで、
PMS構築・運用の全8ステップを1本約2分の動画で解説しています。
自社で取り組んでいる現在の運用プロセスの確認や、
各ステップの再確認にぜひお役立てください。

※JIPDECおよび一部審査機関において新規申請を目指す事業者を対象とした無料セミナーを実施しています。
詳細は、各機関までお問い合わせください。

お問い合わせ先 申請先

プライバシーマーク付与機関

JIPDEC

一般財団法人日本情報経済社会推進協会

プライバシーマーク推進センター

〒106-0032

東京都港区六本木一丁目9番9号 六本木ファーストビル内

TEL : 03-5860-7563

プライバシーマーク指定審査機関

(全国にある19機関で申請を受け付けています)

※本コンテンツは、PMS構築の内容をよりわかりやすく、簡潔にご紹介することを目的としています。

実際のPMS構築にあたっては、プライバシーマークにおける個人情報保護マネジメントシステム構築・運用指針やガイドブック等をあわせてご確認のうえ、ご活用ください。

※ロゴマークのほか「プライバシーマーク制度」「プライバシーマーク」「Pマーク」「Privacy Mark System」「Privacy Mark」「PrivacyMark」などは、すべてJIPDECの登録商標です。

(C)佐藤秀峰 / ブラックジャックによりしく

2026.10